

# 所報

第126号 平成28年11月22日

## 江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058  
(主な内容)

- ・平成28年度夏期セミナーの報告
- ・ALTの退任・就任

## 満足度89.7% 582名の参加

平成28年度の夏期セミナーは、7月27日（水）から8月3日（水）までの5日間で行いました。先生方は、暑い中、熱心に受講し、多くの成果を得ていました。

また、セミナーの実施に当たり北海道立教育研究所、及び附属理科教育センター、附属情報処理教育センター、北翔大学、北海道大学、文京台小学校、給食センター、カーム角山には、講師の派遣や会場の提供等で多大な御配慮をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

## 平成28年度江別市教職員夏期セミナー

今年度も、5日間にわたり、午前と午後の10講座を開設しました。

従来は、夏季休業が始まってすぐに開催していましたが、各学校で休業中の補充授業などが組み合わさるようになった為、今年度は、7月27日（水）～29日（金）、8月2日（火）、3日（水）と変則的な日程となりました。来年度以降もこのような日程で行っていくことを考えております。

また、大変好評で、昨年度まで2講座をお願いしていた「理科実験講座」も、理科教育センターの研修日程の都合で、今年度からは1講座のみしかお願いできないことになり、講座の編成が難しい状況になってきています。

以下、セミナーの様子です。

### 《①今日的な教育課題》



教育研究所長である、渡部丈司教育部長の主催者挨拶で、平成28年度の教職員夏期セミナーが始まりました。



引き続き、北海道立教育研究所の企画研修部主査、泉大吾氏を講師に迎え、「今日的な教育課題」と題し、学習指導要領の改訂をはじめ、最新の教育情報とその対応についてお話していただきました。

途中、映像資料を視聴し、授業改善の視点を考える、小グループによるワークショップが行われ、熱心な討議が行われました。

参加者は、校長先生や教頭先生、主幹教諭の先生など学校の中心となって活躍される方々で、60名を超える人数となりました。

## 《②外国語活動》

北海道立教育研究所の潟沼史朗氏を講師に、小学校外国語活動におけるALTの役割や学級担任とALTが協力して進める授業のあり方について、映像などもまじえてお話していただきました。また、第二小学校の黒田浩美先生とALTのココ・シンディさん、東野幌小学校の佐久間琴慈先生とALTの畑中・カートさんによる模擬授業も行われ、笑顔が絶えない楽しい雰囲気になりました。



## 《③体力向上研修》（「朝運動プログラム」について）

文京台小学校を会場にして、北翔大学の竹田唯史教授をはじめ、増山尚美教授、大宮真一准教授を講師に、始めは、教室で広島県の視察内容についての報告や「朝運動プログラム」の取組の様子・成果について映像や資料を使っての説明がありました。続いて体育館に移動し、実際に子どもたちがやっている「ジャンケンダッシュ」や「宝」「フルーツ・キャッチ」などの運動を体験し、心地よい汗を流していました。



## 《④児童・生徒への走り方指導》

引き続き、文京台小学校を会場に、北翔大学の宮真一准教授に講師をお願いしました。

春に、宮先生をはじめ、市内の中学校の先生方の御協力をいただき、子ども達を対象に「走り方教室」を行いました。その延長として、先生方を対象に「走り」についての理論と指導の実際を講義していただきました。

まず教室で、走りの指導への課題や速く走るための要因などについてお話がありました。

続いて、体育館に移動し、準備体操の後、走るためのポイントとなるジャンプやスキップなどの運動を様々なパターンで行い、最後は走るために必要な筋肉を鍛える「雑巾がけ」行いました。

## 《⑤情報モラル教育》

北海道立教育研究所附属情報処理教育センターの金田唯史研究研修主事を講師にお迎えし、スラグ（隠語）



の紹介から始まり、インターネットやスマホの利用状況やネットトラブルの事例などをお話いただきました。

後半は、動画を視聴した後グループ協議が行われ、身近な問題だけに、皆さん熱心に議論していました。



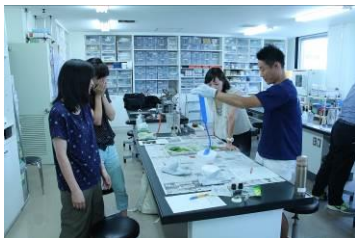
#### 《⑥手話～もう一つの言語》



江別市手話講習会運営委員会から、菅原ひとみ氏、村山ひな子氏、木山泰恵子氏、薮田きよみ氏の4名に来ていただき、聴覚障害の実際や手話の歴史、各地の組織等の実態などを説明していただきました。

続いて、聴覚障害の方が登壇され、生い立ちや苦労したことなどをユーモアを交えて手話で話されたのですが、その間ずっと運営委員の方が交代で同時通訳していて、お話の内容とともに、その通訳の見事さも印象に残りました。

後半は、グループ対抗で伝言ゲームやジェスチャーゲームをして、言葉を使わないで伝える難しさを体験しました。



#### 《⑦理科実験講座》

今回も、北海道立教育研究所附属理科教育センターに会場と講師をお願いしました。講師は、柳本高秀主査、成田一之慎研究研修主事、田中陽一研究研修主事の3名の先生方で、地学、物理、化学のそれぞれの分野ごとに、普段扱えない室素を使った実験など興味ある実験を紹介していただいたり、実際に授業で使える観察器具や天体の見かけの運動が分かる教材を作ったりと、皆さん大変満足して帰られました。

#### 《⑧笑いは智から》

落語家の月の輪熊八師匠(元大麻高校などの校長先生で、道教委の教育指導監も歴任された、村田政孝氏)をお迎えしました。前半は、講座に衣装を着た熊八師匠が登壇し、落語を披露していただきました。後半は、ラフな服装に着替えて、校長時代に発行した「校長室だより」をもとにした示唆に富んだお話をしていただきました。



### 《⑨特別支援教育》

北海道大学の柳生一自助教を講師に迎え、つまずきのある子どもへの対応の仕方を、具体的な事例を交え説明していただきました。



### 《⑩フィールドワーク》 「カーム角山」「給食センター」

今回は、全自動搾乳システムを導入し昨年オープンした「カーム角山」と「給食センター」を見学しました。給食センターは、工事中だったため、普段入れない調理室の中にも入ることができました。



## さよなら マシューさん

小学校のALTとして9年間、外国語活動のお手伝いをしていた、マシュー・ウェブさんが、イギリスに帰国することになり、この度退職いたしました。マシューさんからメッセージが届きましたので、紹介します。



教えるということは大変ですが、素晴らしいことだと思います。江別の子ども達、先生方、そして江別で過ごした日々は、私の人生の一部となりました。また日本に戻ってくることを願っています。

## 新しいALTの紹介

マシュー・ウェブさんに代わって、ALTになったアダム・ジョン・コンダーさんです。9月1日から中央小学校と対雁小学校でALTとして活躍しています。



私は、アダムです。

アメリカから来て、5年間、岩見沢に住んでいました。好きな食べ物は、ピザ、焼き肉、ラーメン、ハンバーガーです。趣味は、テレビゲームです。江別で英語を教えることが楽しみです。一緒に頑張りましょう。よろしくお祈りします！